

# まちなかの地域資源を生かした「まちなかのふるさと教育」

岡山市立岡山後楽館高等学校まちなかのふるさと教育実行委員会

## 活動の目的

平成28年度の「まちなかのふるさと教育」のアンケート結果の中に、地域や近隣の学校との協力があまりできていないという課題と、社会での経験を積んでいないという課題がでてきた。そこで、「総合的な学習の時間」を利用した授業を通して地域活動に興味を持った生徒を対象に、特別な活動を実施し始めた。自ら進んで特別な活動に参加することで、自己肯定感や・有用感を高めたり、私たちの「ふるさと」としての岡山を愛する気持ちを育むことで持続可能な社会の形成者となることを目的とする。

## 活動の内容及び経過

### 「岡山市政の現状や課題を理解し、解決策を提案する」プログラム

- 第1回 岡山市の職員による現状や課題についての講義  
(29年度は8テーマ)
- 第2回 岡山市の課題を発見し、解決策を考えるためのワークショップおよびポスター作成
- 第3回 グループ単位でポスターを使って発表

### 「西川水族館」

西川で捕獲した魚やエビなどの水槽展示や、西川に水中カメラを入れて川の中の様子をLive中継した。「西川水族館」では、西川に生息する生き物を知ってもらい、川を大切にすることの啓発活動を行った。

### 「らっかんランチ食堂」

月に1回地域の方々を学校の食堂に招き、「孤食から共食」をテーマに「らっかんランチ食堂」を開催した。夏休み中の8月18日には流しそうめんを実施し、12月にはクリスマス会、1月は福引き、2月は豆まきなど季節に合わせたイベントを行った。

## 活動の成果・効果

地域資源を生かして、地域の方や仲間と協働的に活動するという「まちなかのふるさと教育」の取り組みを実施してからは、「コミュニケーション能力、情報収集能力、情報活用能力の向上」や、「課題を解決するための論理的思考力、判断力、表現力を身に付けることができた」と感じている生徒が増加した。また、特に1年次生では「社会での経験を積んでいる」という項目が入学時に比べて2月時点ではかなり上昇した。

「西川水族館」は西川を活用したまちづくりの一環として、歩行者天国実行委員会と連携して活動を行ったため、生徒が岡山市の魅力化につながるイベントの意味を理解し、活動につなげることができた。



「らっかんランチ食堂」では、回を重ねるごとに生徒から課題や改善点が出てきて、季節に合わせたイベントなどを取り入れて、いろいろな立場の方々に楽しんでもらえるようになってきた。

これらの活動を通して、地域とのつながりを感じている生徒や、ふるさとである岡山を愛する気持ちをもつ生徒、自己肯定感が高まった生徒が以前に比べて増加した。

## 今後の課題と問題点

教員の意識調査の中で、教員の指導力を向上させる機会やしくみが必要という意見もあり、全教員が自信を持って楽しみながら取り組めるよう平成30年度以降定期的に教員研修を実施したい。また、現在行っている取り組みが担当者が変わっても持続可能な取り組みとなるような組織体制を作る必要があると考える。

- 代表者：上林栄一 ●所在地：岡山市北区南方
- TEL：086-226-7100
- E-MAIL：korak001@city-okayama.ed.jp
- URL：www.city-okayama.ed.jp/~korakukan/
- 設立年：2016年 ●メンバー数：13名